



# 横浜市 技連協だより

第41号 平成22年1月31日

技連協シンボルマーク  
(平成6年7月12日制定)

横浜市技能職団体連絡協議会(略称技連協)とは  
市内の技能者(職人)の集まりで、昭和43年11月に  
結成されました。

発行 横浜市技能職団体連絡協議会  
事務局 横浜市技能文化会館内 〒231-8575 横浜市中区万代町2-4-7  
電話 045-650-5811 FAX 045-650-5862

発行責任者 会長 島山 滋

## ○ 第30回 よこはま技能まつり開催 ○

平成21年10月4日(日)、今年で30回目を迎える技連協の一大イベントである第30回よこはま技能まつり(主催:横浜市技能職団体連絡協議会)が大通り公園にて開催されました。

ハマの職人が一堂に会しての「よこはま技能まつり」は、市内の職人が、長年の経験と研鑽で得た衣・食・住・生活一般等にかかわる手作業・手仕事の技能を広く市民の方々に、披露し、継承していく事を目的として開催しています。

伝統の技はもちろん「ものづくりの楽しさ」「ものづくりの大切さ」を見て体験してもらい、その他相談コーナー、作品展示、直売なども行いました。

天候にも恵まれ、横浜市から渡辺経済観光局長をはじめ高崎市職業能力開発連絡協議会小林成行会長、林忠一副会長、川崎市技能職団体連絡協議会若月偉男会長など多くの方々が出席される中、オープニングセレモニーでは、横浜市鳶工業連合会の皆さんによる木遣り・纏が披露され、会場を練り歩き、イベント会場を盛り上げてくれました。

会場には約3万人が訪れ、技能体験や実演などで大変賑わっていました。特に、多くの子供たちの参加が目を引きました。

市技能職団体連絡協議会(島山滋会長、46団体)が20日、社会福祉のために「第30回よこはま技能まつり」の収益金12万9205円を神奈川新聞厚生文化事業団に寄託した。写真。



「技能まつり」は、横浜の職人が一堂に会し、その技能と心意気を披露し、市民生活を支える衣食住

民にものづくりを体験してもらうのが狙い。毎年秋に開いている。今年も10月4日、中区の大通り公園を会場に、30団体のブースを出して開かれた。ポスターを作ったり、銅板で表札を作ったり。各ブースではさまざまな体験ができ、好天に恵まれて約3万人が訪れた。寄託金は、その折の収益金の一部。島山会長は「来年

横浜市経済観光局長 渡辺巧教局長挨拶



技能まつり会場の来場者の賑わい



横浜市鳶工業連合会による、木遣り・纏の披露



神奈川新聞  
平成21年11月21日付